

序論

市の沿革

西東京市は、平成13年(2001)年1月21日に、全国に先駆けた都市型合併の先進市として旧田無市と旧保谷市が合併して誕生しました。

旧田無市は江戸時代から青梅街道の宿場町として、そして北多摩地区の人々の生活を支える商業の拠点として栄えてきました。また、旧保谷市は、江戸時代に幕府の開墾対策の一環として新田開発された農村から、その後の都市化の進展と住宅開発により住宅都市として発展してきました。

新市発足後は、国や東京都から合併後のまちづくりへの支援を受け、新市建設計画で重点施策に掲げた西東京いこいの森公園の整備、コミュニティバス「はなバス」の運行、地域情報化の推進、ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進の4つの施策を着実に実行しました。また、全国に先駆けて市民参加条例を制定するなど、市民参加によるまちづくりに積極的に取り組んできました。

合併10周年を迎えた平成23年には、将来に向けた新たな出発としてのさまざまな事業を展開する中で、多くの皆様の投票によって命名された西東京市マスコットキャラクター「いこいな」が誕生し、魅力あふれるまちを目指して、更なる発展を続けています。



市の概況

(1)位置と地勢

西東京市は、北緯35度44分、東経139度33分、武蔵野台地のほぼ中央で、東京都の西北部に位置し、北は埼玉県新座市、南は武蔵野市、東は練馬区に、西は小平市及び東久留米市に接しています。

標高67m、地勢は北に白子川、中央部に新川（白子川支流）南部に石神井川があり、それぞれ西部から東部に向かって流れており、その沿岸が2～3mの低地となっているほか、一般には西から東になだらかに傾斜したほぼ平坦な地域です。

地質は、関東ローム層（主として関東地方に分布する褐色の土で、砂と粘土から成って空隙に富み、有機物を多量に含んで、植物の育成に適する。）で、厚さ10m以上の所が多く、その下は径3～5cmの礫層で、地下水位は河川沿岸の低地に見られるくらいです。

(2)気候

1年を通じての平均気温は15.9℃、最高気温38.0℃、最低気温-7.4℃（平成24年）で、年間降水量は1,472.2mm、気候は温和で、住宅都市として最適の環境をそなえています。

(3)面積

西東京市は、東西4.8km南北5.6kmにわたり、面積は15.85km²となっています。

(4)人口

平成25年1月1日現在の住民基本台帳によれば、本市の総人口は197,805人で、10年前の平成15年の180,276人と比較すると約9.7%増加しています。

年齢3階層別人口は、平成25年の年少人口が12.7%、老年人口が21.4%であり、平成15年の年少人口13.0%、老年人口17.6%と比較して、老年人口の増加が顕著になっています。

市の木



けやき

市の花



春：つつじ



夏：ひまわり



秋：コスモス



冬：すいせん



はなみずき

